



高山西ロータリークラブ

例会報告

第 2 6 3 0 地区 岐阜県 濃飛分区 創立 1 9 6 6 年 1 月 1 5 日

- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 例会場 高山市花里町 3-33-3 TEL 34-3988
- 会長 折茂 謙一
- 幹事 米澤 久二
- 会報委員長 脇本 敏雄
- 大垣共立銀行 高山支店 4 F



「かけっこ」 蜘蛛 康介

＜会長の時間＞

昨年 7 月会長に就任した時の挨拶で、「会長の時間は何とか折茂謙一を出したい」とお話ししました。折茂謙一というのは客観的にはしばしば大病をした、体は弱い、頭もよくはない、何人か以上に優れたものも特にない。でも自分の中に何か眠っている能力があるに違いないと諦めないで頑張っている人間だと思います。そういうわけで本日は遺伝子のお話をいたします。医学的な話ではなくごく一般的なことです。筑波大学名誉教授で村上和雄という方がいます。1983年に高血圧の調節に重要な役割を果たしているレニンという酵素の遺伝子解析に成功します。世界的な業績として評価されています。京大の大学院時代は優秀な先輩から毎日バカ呼びわりされ、劣等感から自信を無くします。大学院を出てアメリカの大学に留学します。アメリカの大学は研究成果を上げないと解雇されてしまうので、お払い箱にならないため、毎日大変なプレッシャーと戦いながら研究に励んでいるうちに、生涯の研究テーマとなるレニンと出会うわけです。日本の大学には戻る場所がないという覚悟が、遺伝子のスイッチをオンにしたということです。人間の遺伝情報のうち働いているのはせいぜい3パーセントで残りの97パーセントは眠っていて、遺伝子の働きにはオンとオフがあってスイッチが入ったり切れたりするということがわかってきたということです。遺伝子情報の97パーセントが働いていないのだから、私たちの内部には無限の力が眠っているということになるのではないかと、外部からの刺激とか心の持ち方や精神的な作用によって、眠っている遺伝子のスイッチをオンにできれば誰でも天才的なことができるのではないかと。遺伝子レベルで見れば天才と凡人も99.9パーセントは同じだから、人それぞれに自分の花を咲かせることができるように設計されているということです。『心と遺伝子』の関係を解明したいと村上氏は言っています。その遺伝子に関する本を紹介します。『成功遺伝子』著者トーマスLハリソン。2006年4月10日サンマーク出版。この本の初めに、世の中には進化したり変化に適応したりすることができない人もいれば、様々な障害をものともせず成功する人もいます。それはいったいなぜだろう？本書は成功し続ける人たちが、どのようにして特定の先天的な性格特徴を強化し、足りない性格特徴を埋め合わせていったかを明らかに



するものである。どんなに優れた遺伝子を持っていても、それを使わなければ意味がない。それらには鍵がかかっていることがある。この本にはそのカギを開けて解読する手掛かりがあるはずだ。自分の未来は自分で切り開こう。ということで自分の遺伝子の棚卸の方法とその遺伝子を目覚めさせる方法が書かれています。

＜幹事報告＞

◎地区ロータリー財団部門委員長より

・『学友だより第3号』

◎高山ロータリークラブより

・高山・高山西インターアクト委員会合同懇親会開催について

日時 7月25日(木) 19:00より

会場 恵の久 下二之町

出席者 会長、IA委員長、IA副委員長、学校長、顧問

◎高山市民憲章推進協議会より

・平成25年度高山市民憲章推進協議会総会資料

◎高山市青少年育成市民会議より

・平成25年度高山市青少年育成市民会議総会資料



＜出席報告＞

区分	出席	Make-Up	出席者数	会員数	出席率
前々回	41名	ナシ	41名	52名	78.85%
本日	39名	—	39名	52名	75.00%

＜高山RC新会員紹介＞



角竹会長より新会員の方々をご紹介

(写真左より)

西村 尚 様

長岡 俊輔 様

養谷 雅彦 様

奉仕を通じて平和を

例会報告

＜本日のプログラム＞ ガバナー補佐訪問

濃飛グループガバナー補佐
上野田 隆平 様

本日は今期最後のご挨拶に伺いました。IM はじめ8クラブゴルフコンペ等、多大なるご協力をいただきました事心よりお礼申し上げます。

今年度の村橋ガバナーは、お声も体も大きな方で、時にその言葉が刺激的に聞こえた場合もあったかとは思われますが、「不易流行」を掲げられ、CLPにも取り組まれました。

地区の会員数の目標は純増 5%としており、現状は170名弱の入会、100名程の退会で2.5%の増となっておりますが、年度末に退会される方が例年多くいらっしゃいますので、中々厳しい状況となっております。

ロータリー財団の補助金につきましても、手続きが変わり大変だというお声もいただいております。しかし、これまで補助金対象とならなかった様な事業についても申請可能となっております。ぜひご活用いただければと思います。

今年度高山西クラブさんにも交換学生の受入の労をお執りいただいております。ただこの所、日本からの派遣学生が大変減ってきております。ぜひ派遣にもお力をお貸しいただければ幸いです。

今後とも地域に開かれたロータリーとして、ますますのご発展を祈念申し上げ、最後の御挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。



クラブアッセンブリー

SAA 内田 幸洋

年間スケジュールを2ヶ月毎のローテーションとし担当してもらい、SAAメンバー全員が協力し合い進行して来ました。

3月8日の担当例会には、高山で英会話教室の講師をしている元ロータリー奨学生のニコラス・ブッシュ氏を招いてスピーチをして頂きました。また当日には交換学生のベスにも出席してもらい交流ももっていました。



クラブ奉仕委員長 田中 武

委員長に田中 武 副委員長に阪下六代さん 委員さんには、(会員増強・職業分類)の・堀川和士さん、(親睦活動・趣味の会)の・門前庄次郎さん、(ニコニコ)の・小林勝一さん、(雑誌・広報)の・



河渡正暁さん、(会報)の・脇本敏雄さん、(出席・プログラム) 洞口良一さんです。

基本方針：関連各委員会の活動をスムーズに行うため連携を深める。これには各委員長の各委員会の活動内容を良く確認しあい連携をとりあいスムーズに行うこと。

計画：関連委員会の委員長会議 第1回目は平成24年7月20日(金曜日)19:00～場所 朝日町のきのえねで行いました。全員10名の出席が有りました。第2回目は平成25年2月22日(金曜日)18:30～場所 昭和町の桃園で行いました1名の欠席で9名の出席が有りました。

ゲストスピーチ(平成25年2月25日): 社会福祉法人 高山市社会福祉協議会 丹生川支部コーディネーター小林俊輔さんをお招きして行いました。

以上で一年間無事終了致しましたこと、ご報告申し上げますと共に、皆さんのご協力に寄らせて何とか出来ました事、心よりお礼申し上げます、有難う御座いました。

親睦活動委員長

門前 庄次郎

会員や家族間の親睦と交流を深める事を目的として活動をしました。また、皆さんに楽しんで頂くためには、自らが楽しくないといけないとの思いがありますので、親睦委員会自体が楽しみながらやって行く事を、大切に思っています。



上期には8月10日に「ゆかた例会」を行いました。この時は、会員だけの手作りの親睦会と言う事で、飛騨総社をお借りし、食べ物やお酒も持ち込み、余興のゲームなども、親睦委員全員で考え準備しました。ゲームは沢山準備しておりましたが、時間の都合で一部しか出来なくて残念でしたが、皆さんに楽しんで頂けたのではと思っています。

また、1月5日には『新年家族例会』を行いました。新年最初の例会なので、この一年が元気の出る一年になる様に、そんな思いを込めてやらせて頂きました。

アトラクションでは、舟山太鼓の皆さんに、腹の底から力が出るような演奏して頂き、その後親睦委員が和太鼓の曲に乗せたオリジナルの踊りを披露させて頂きました。練習も満足に出来ず、「本番はうまくいくのかな。」との心配もありましたが、いざ蓋を開けてみると、皆うまくて、何より本番は緊張したけど、楽しかったと言ってもらえたのは良かったです。皆さんにも、楽しい新年会であれば良かったと思っています。

下期には5月15日に台北東海RCをお迎えし、新緑例会を行いました。昼間は上高地へ行き、夜はアソシアにて歓迎会をやらせて頂きました。

上高地は、大変珍しいというくらいの、好天に恵まれ、環境保全委員会の方で三人のガイドさんを手配頂いたので、

奉仕を通じて平和を

例会報告

いろんな話が聞け、散策の時間が短く感じられるほど楽し
いひと時を設けられ、良かったと思っています。

一年間、会員の皆様にご協力頂き事業を無事終われた事に
感謝します。ありがとうございました。

ニコニコ委員長 小林 勝一

こんにちは。本年度のニコニコには皆様方大変な御協力を
頂き有難うございました。あと
1回を残すだけとなりました、
最終回もたくさんの御協力をお
願います。

この一年間に皆様より頂きま
した投稿数は、約720件に
なっており、金額合計では80万円に達しておりますが、例
年に比べ7~8万円位の減額となっております、原因として
考えられるのは、突出した多額の協力金が一件もなかったこ
と、また会員数は増えて居るのですが出席率が非常に悪かし
ている、これも一つの原因と考えられます。

3月22日のニコニコ委員会の担当例会には、高山市社会
福祉協議会 会長の西永様にお越しいただいて、これからの
高齢化社会についての卓話を聞かせて頂きました。

今年度のニコニコ賞は、一年間を通して15回以上投稿さ
れた方(10名位)に差し上げたいと考えております。

この一年間、皆様方の御協力に心より感謝し御礼の報告と
させていただきます。どうも一年間有難うございました。



雑誌・広報副委員長

田中 正躬

皆さんこんにちは、雑誌広
報委員会です。委員長に河渡
さん、委員に葛谷さん、野戸
さん、道脇さん、副委員長に
私田中正躬でしたが、委員長
河渡さんが突然退会されまし
たので、その後は雑誌の紹介のみについて引き継いで行いま
した。

10月19日例会でのゲストスピーチに、地区広報・情報アド
バイザーの坂口周平さんをお招きしました。

一年間ありがとうございました



会員増・職分・選挙委員長

堀川 和士

委員長：堀川 和士
副委員長：古橋 直彦
委員：阪下 六代、
遠藤 隆浩、鴻野 幸泰、
井上 正

この1年間、ロータリーの

営業部ともいうべき、増強会議開催には新旧会長・幹事始め、
増強委員・オブザーバー含め毎回12名以上参加して頂き、
全9回のミーティングに情熱を注ぎ、活発な情報提供、意見
交換の内に終了致しました。

結果としましては、6名の新会員を推薦することが出来まし
た。(理事会通過は5名)純増とはなりませんでしたが、思う
所有り心の奥底は打ち明ける事無く、委員長として満足する
ことに至りました。1年間ありがとうございました。

ロータリー情報委員長

阪下 六代

当委員会は、2つの基本計
画を立てておりました。

1つは、新会員のためのオ
リエンテーション及び懇談会
の実施で、年3回を予定して
おりましたが、新会員の入会
の状況を見ていた結果、2月
28日の1度の実施だけにとどまりました。

その新会員オリエンテーション・懇談会は、前期入会の小
瀬真之介さん、山倉真輔さんと、今期入会の井上正さんの3
名を対象に行ないました。

その後入会された田中晶洋さん、新井典仁さん、山下直哉
さん、前期入会で、これまで都合により出席できなかった長
瀬達三さん、次期入会予定の西村直樹さんは、次期の早々に、
その後入会された方々と合わせて行なっていただくことにな
っております。

2つ目の、会員に対し、ロータリーの歴史、綱領、活動に
関する情報を提供することについては、1月11日の担当例
会において、皆さんにロータリークイズを出し、その後、解
答とその解説をすることによって、一応の目的を達すること
ができたと考えております。



職業奉仕委員長

小田博司

こんにちは、職業奉仕委員
会 委員長の小田です。本年
度は、副委員長に野戸さん
委員に葛谷さん、新田さん、
大豆村さんの5名で進めてき
ました。

さて、当委員会の本年度の活動は、概ね従来の活動を踏襲
した内容としました。今後の活動についても、議論を加える
ことも必要ではないかと考えられます。

昨年10月12日、飛騨牛乳本社工場を見学、経営基本理
念等の考え方、製品品質管理に係わる取組み等を聴講しまし
た。生産ライン稼動状況は、営業上の都合で見ることができ
なかったのが残念でした。

3月29日に「協働社会の地域づくり」と題して、前期に



奉仕を通じて平和を

例会報告

引き続き、市役所市民部市民生活推進課から講師を招き、多様化する社会、あるいは地域の持続的人間社会創世維持のための行政の取組みについて話を聴き理解を深めることができたものと考えます。

いずれも、職業を介して社会奉仕の理念を掲げるロータリークラブの活動に資するために参考になったものと振り返ります。

当委員会の活動に間わっていただいた部外関係者、そして関係会員の御理解と御協力に感謝して発表を終わります。

インターアクト委員長

蜘蛛 康介

みなさん、こんにちは。インターアクトクラブ委員長の蜘蛛です。副委員長に垣内さん、委員は門前さん、東さん、大村さんの総勢5名で運営させていただきました。

活動としては、平成24年7月19日に合同懇親会を旬亭なかり川で行い、8月4～5日には、鈴鹿市の方へ年次大会に参加してきました。

10月21日にはIA地区協議会を文化会館の方で主宰させていただきました、韓国へ生徒2名を派遣もさせていただきました。

そして、5月26日には四日市でのインターアクト教師部会へ次期委員長の垣内さんに参加してもらい、今年度の活動計画は全て滞りなく遂行させていただくことができました。

ロータリークラブに入会して初めての大会でございましたが、皆様のご指導とご協力のおかげで、無事にその役目を全うできたと思います。いい勉強にもなりました。一年間、ありがとうございました。



<ニコニコボックス>

●濃飛グループガバナー補佐 下呂RC 上野田 隆平 様
一年間大変お世話になりました。本当にありがとうございました。

●高山RC 会長 角竹 邦雄さん

本日は新会員3名よろしくお願ひいたします。

●折茂 謙一さん、米澤 久二さん

・第2630地区濃飛グループガバナー補佐 上野田 隆平さん、ようこそいらっしゃいました。本日はよろしくお願ひします。

・高山RC会長 角竹ゲストさんはじめ養谷さん、長岡さん、西村さん、ようこそいらっしゃいました。

●山下 明さん

上野田ガバナー補佐様のご来訪を歓迎して。1年間ご苦勞様でした。

●小森 丈一さん

上野田ガバナー補佐様のご来訪を歓迎致します。この1年間ご苦勞様でした。

●狹土 貞吉さん

高山クラブ養谷さん、長岡さん、西村さん、また引率された角竹会長ようこそお出で下さいました。

●新田 敬義さん

西村さん、ようこそお越し下さいました。

●遠藤 隆浩さん

養谷雅彦君と西村さんの御来訪を歓迎します。いつもお世話になっています。今後ともよろしく。

●野戸 守さん

9日、はぐるま会で5位に入りました。スコアは95で自分としては上機嫌です。

●垂井 政機さん

オレオレ詐欺の話は巷間聞いていたものの、まさか身内が還付金詐欺にされてやられるとは思っていませんでした。ニコニコ400回分ほどの被害だったらいい。皆様方どうぞご注意のほど…。

●岡田 賛三さん

ごぶさたのお詫びとして。

●小田 博司さん、小林 勝一さん

6月もあと2週間となりました。思えばあつという間の1年間でした。良かったなあと思える出来事はありませんでしたが、健康であったことが何よりと思います。会長幹事はじめ役員の皆様、会員の皆様この一年間ありがとうございました。次年度もよろしくお願ひいたします。お手柔らかに。

一期一会

向井 公規

一期一会…この言葉を聞いて、いつも思い出す事があります。

よく言われる事ですが、「寝ずに日本人全員に1秒ずつ出会うには、どれくらいの期間がかかるのか？」という事です。総務省の統計によると、平成25年の5月時点での日本の人口は1億2730万人です。つまり、日本人全員に1秒会うには、1億2730秒という時間が必要になる訳ですが、年数に換算すると、約4年という期間が必要になります！10秒会えば40年、1分会うには240年という果てしない月日がかかります。この数字を見ると、親・兄弟はもちろん、友人や今まで出会った一人一人、そして、高山西ロータリークラブで皆様と過ごさせて頂く時間にご縁を感じます。

ここ最近、出張や仕事の関係でなかなか例会に出席できておりませんが、ご縁を忘れず大切に、出来る事は全力で取り組んでいきたいと思っておりますので、今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。